

就労支援の立場から

平成21年7月12日

大阪府障がい者自立相談支援センター
笠原和恵

大阪府総合労働事務所(職業カウンセリングセンター)
加藤彰俊

はじめに

- I 調査機関、調査対象
- II 未診断の発達障害者が相談に訪れているか
- III 共通の経過と就労困難な要素
- IV 適性相談の中で、どのような支援をしたのか
- V 結論

「職業適性相談に見る就労困難者
としての発達障がい者への支援と
機関連携」 笠原和恵

福祉の知 平成21年3月

笠原和恵(当時、職業カウンセリングセンター職員)
が平成17年度から19年度の相談データを
分析、論文としてまとめた。
大阪府健康福祉部の「福祉の知」に掲載。

〈1〉調査機関

2005年度～2007年度

〈2〉対象

142人

調査期間中の新規相談者の2733人中で

- ◆ すでに発達障がいの診断を受けている
- ◆ 医療機関等で、傾向を指摘された
- ◆ 当センターでの相談、検査内容から発達障がいの疑いを持った対象者
- ◆ 知的発達の遅れを伴わない群

障がい種別と医学相談、手帳の有無

	男	女	合計	手帳
広汎性発達障がい	46(26)	12(6)	58(32) 55%	1
学習障がい	26(7)	11(3)	37(10) 27%	1
注意欠陥多動性障がい	10(1)	9(1)	19(2) 11%	0
その他の発達障がい	19(5)	9(1)	28(6) 21%	0

備考 ()内は診断確定している人数、赤字はその比率

図1 学歴

(人)

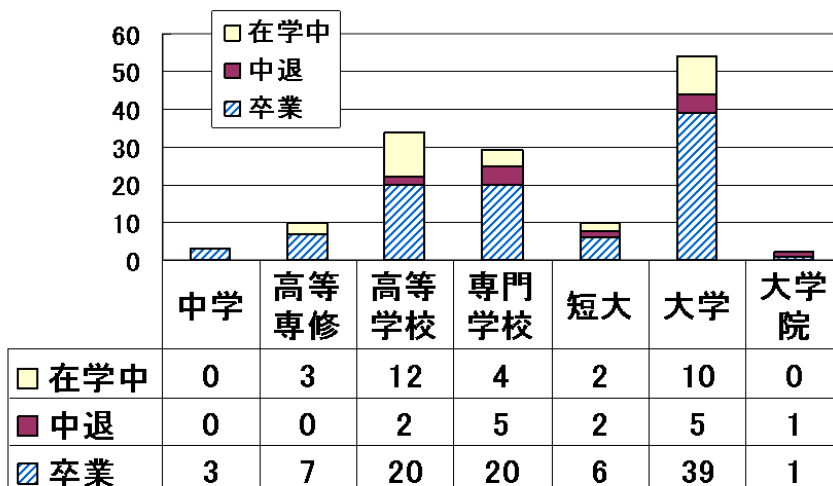
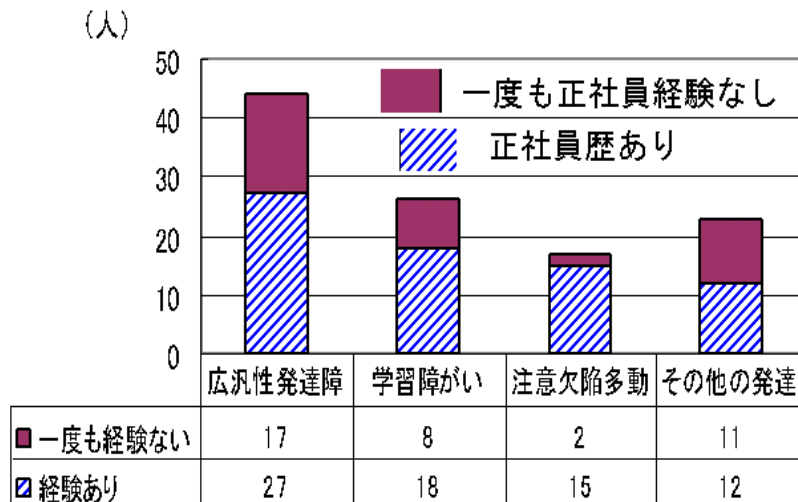


図3 正社員歴



笠原氏の論文から

職業適性相談の中で、なんとなく感じていたことが明確になった。

- 高学歴だが職場不適合、再就職が困難
- 職場で友人ができにくい、話すのが苦手
- 上司との対人関係に悩む、面接が苦手
- 仕事の失敗経験が、心に残っている
- 失業の長期化、ひきこもり
- メンタルなフォローや治療が必要な場合も

どのような支援をしたか

職業適性相談、結果説明、カウンセリング
家族との話し合いの中で、次に続く支援へ

- 再就職に向けて、本人の職業適性への理解
- 障がい受容～制度利用へ、家族、本人の理解

制度利用に向けて関係機関につなぐ

- 手帳取得に向けて、手続きを指導
- メンタルなフォローや治療が必要な場合も
- 診断確定、手帳交付までの待機期間の関わり

どのような支援をしたか

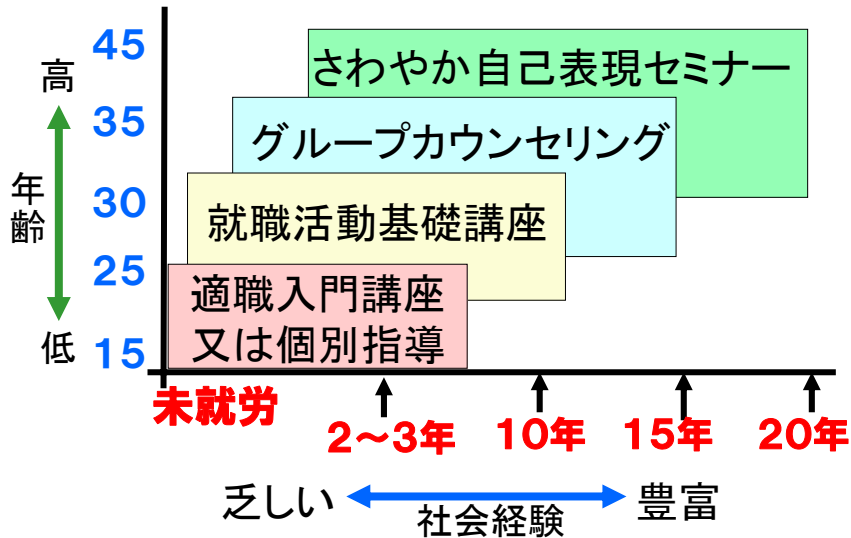
職業適性相談、結果説明、カウンセリング
家族との話し合いの中で、次に続く支援へ

- 再就職に向けて、本人の職業適性への理解
- 障がい受容、制度利用に至らず、一般就労へ

ハローワークへの専門支援につなぐ

- 一般就労であっても、本人の職業適性に向けた職種選択、ケースワーカーの同行指導
- 就職チューター、ジョブサポーターの利用

職業適性相談後の継続的なかわり



適職入門クラブ

就職活動の基礎力アップ

今すぐの就職というよりも、
職業に対する知識を深める

これから就職活動という段階
の若年者(プチ社会人)向け

作業、学習、ミーティングで
自己理解を深める



適職入門講座・SUMMERコースのご案内

講座の特徴とねらい
若い方を中心にした講座です。少人数制で、落ち着いたふん囲気大切にします。作業経験の中で、職業適性の自己理解を深めよう。
*指導のマネージャーが就職スキルを、楽しく身につけよう。
パソコンを使って、仕事情報を自分で探せるようになろう。
パソコンがはじめての方でも、苦手な方でも、参加できます。

これから働きたい、働いてみたいと思っっているあなたへ、働くことに対する心構えや、職業の選び方、職業情報の集め方、履歴書の書き方など、就職に関する知識を、あなたから学習していきましょう。
また、これからの就職にはパソコンのスキルが求められています。職場の中には、書類の扱い方を含めてマナーも大切で、適職入門講座には、パソコンやビデオによる学習もあります。

SUMMERコース日程・プログラム

日	時間	内容
6/30(日)	13:30	1 オープニングカフェ
7/7(日)	13:30	2 就職準備は大丈夫?自己チェックをしてみよう
7/14(日)	13:30	3 パソコンで探検してみよう
7/22(日)	13:30	4 どんな仕事があるのかな?OHBYをしよう
7/28(日)	13:30	5 仕事にチャレンジ
	13:30	6 職業見本による作業体験・職場のマネージャーにチャレンジ
	13:30	7 職業見本による作業体験・履歴書を作ろう
	13:30	8 仕事さしのスキル
	13:30	9 インターネットで職業情報・適職入門カフェ



講座のタイムスケジュール

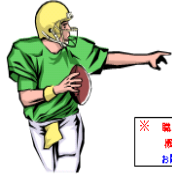
時間	内容
13:20~	ミーティング
13:40~	課題に取組もう
18:00~	評価とふりかえり

適職入門講座のお問合せ先

職業カウンセリングセンター
電話06-6946-2614 担当 加藤
大阪市中央区西2-5-3
Eメールおたが川 尚輝4様



就職活動基礎講座



受講料
無料

※ 職業体験がセナで職業適性相談をご利用の方で、
高校40歳代までの方を対象としています。
お問合せは 06-6946-2614 担当 加藤まで

開催：平成21年4月から、毎週木曜日
各回とも、予約（先着順）で発行しております。当日までにお申込みください。
連続での参加も、1回だけの参加もできます。

プログラム 各講座は、午後1時10分から2時40分

- | | | |
|------|-------------------|----------|
| (1) | 就職活動の流れと基礎知識 | 4月16日(木) |
| (2) | 仕事準備は履歴書から | 4月23日(木) |
| (3) | 自分の強みを考えて、職業選択 | 4月30日(木) |
| (4) | 基本の動作を明確に(面接基礎入門) | 5月 7日(木) |
| (5) | 職務経歴書入門 | 5月14日(木) |
| (6) | 求人票に強くなる(資金・条件) | 5月21日(木) |
| (7) | 応募書類作成(履歴書と送付状) | 5月28日(木) |
| (8) | 会社訪問の前に(面接とマナー) | 6月 4日(木) |
| (9) | 志望動機・自己PRを準備しよう | 6月11日(木) |
| (10) | チャレンジ(模擬面接と自己PR) | 6月18日(木) |

※当日は、筆記用具(鉛筆、シャープペンシル、消しゴム)が必要です。
※(2)(5)(7)にご参加の方へ、お手もとにあれば、履歴書(以前に書かれたもの、
書き損じしたものでもあれば)、ご持参ください。写真はいりません。

就職活動の スキルアップ

- ・自己PR
- ・面接
- ・履歴書
- ・職務経歴書



継続して通う
ことで、

生活空間の広がり、対人接触の
機会の増加

グループカウンセリング

4月～5月(2009年)

就職活動センター 大塚駅前分館 研修室

グループカウンセリング

「自身の成長を大前提」として、人と話すことが苦手な方、
自分の強みとことまよく表現できないうちにその準備していただきたく
らと催します。
少人数での話し合いを通して、ヒントを見つけたい方も、
心まで癒えるようなサポートの必要、奮闘への励みもOKです。

テーマ まず、話すことから始めよう

時間：午後3時から4時30分

- | | |
|----------|---------------------------|
| 4月17日(日) | 自分と会社の強みと弱み 就職活動のモチベーション |
| 4月24日(日) | 人はどうやって動くのか、自分の強みを知る |
| 5月1日(日) | 「強み」とは何か? 自分なりの強みを知る |
| 5月8日(日) | どうやって強みを生かす? 強みを活かす方法 |
| 5月15日(日) | 強みを生かす強み 強みの強み、人間関係 |
| 5月22日(日) | 強みを生かす強み 強みの強み「強み」で強みを生かす |
| 5月29日(日) | 強みを生かす強み 強みの強み「強み」で強みを生かす |



セミナーA・セミナーBは、毎月第1回
第2回内開催しております。
セミナーCは、毎月第1回開催

日	月	火	水	木	金	土	日	祝日	出席
4月	13	14	15	16	17	18	19	20	17
	21	22	23	24	25	26	27	28	24
	29	30	31	5	6	7	8	9	21
5月	10	11	12	13	14	15	16	17	15
	18	19	20	21	22	23	24	25	22
	26	27	28	29	30	31			29

※ 就職活動センターの職業適性相談・選考セミナーをご利用になった方が対象です。

- ・単発でも参加できる
- ・遅刻しても参加できる

まだ、対人関係のとり方が
うまくできない参加者も
いて、急な用事やバイト
を断れないこともある。

毎回、課題を設定して考
える。職場でのマナーや
困ったことも自由に話し
合う。

さわやか自己表現セミナー

2008年 SPRING

さわやか **参加無料**
自己表現セミナー

2008年3月12日(水)
3月19日(水)
午後1時～午後3時30分

このセミナーについて

- うまく話せないとか、言いたいことがキチンと伝えられないと思ったことはありませんか。
- あなたがあなたらしく幸せに生きるために、「言いたいこと」や「分かってもらいたいこと」はありのままに言ってみましょう。
- このセミナーで、あなたも対人関係のスキルアップや面接対策をしてみませんか。
- 1日目、2日目の参加もできます

時 間	プログラム	1日目の内容	2日目の内容
13:00	オリエンテーション	セミナーのはじめに	セミナーのはじめに
13:20	プレゼミナー	それぞれの自己表現	自己表現をしてみよう
14:00	講 義	3つのタイプの自己表現	日常の中の思い込み
14:40	グループワーク	自己表現の演習1	自己表現の演習2
15:20	セミナーのまとめ	2日目の内容について	2日間もふりかえって

お問合せは、
職業カウンセリングセンター
電話:06-6846-2614 無料(加税)

大阪府総合労働センター

意見や自分の気持ちの表現の仕方を練習することにより、対人関係のスキルを見直し、人間関係を改善する。

また不合理な思い込みにより、自分に自信が持てなくなっている方に周囲の状況や相手を観察するスキルを身につけさせて、職場定着を目指す。

効果的な就労支援のために

肯定的な

自己概念

自己理解

価値観

が必要

「これまでの生活の中で経験した」

マイナスイメージから「新しい自己概念」へ

行動計画の作成(ある意味で、コーチング)

肯定的な自己理解のために

一人っきりで、長い間、孤立を続けさせない

一人では、自立は成し得ない。いろんな人と
関わり、話す、聞く、訊く、安心できる場を持つ。

自尊感情をはぐくむ ……心の健康には必要

身近な人との交流の中で、今の気持ちを
オープンに語る。

自分を元気にする努力、自分の好きな運動で
体を動かす、本を読んだり、セミナーに参加。

関係機関の連携：ハローワーク

国の職業紹介機関。

- * フリーター常用就職
支援事業(若年者
ジョブサポーター)、
 - * 障害者の就業等
(就職チューター)
- ⇒右記参照

若年コミュニケーション能力
要支援者就職プログラム

- * 発達障がい等によりコミュニ
ケーション能力に困難を抱え
ている求職者が対象。
- * 専門支援機関(障害者職
業センター等)に誘導。

- * 障がい者向け専門支援を希望しない者には一般窓口で就職
チューターによる職業相談・職場定着支援を行う。
大阪府は5カ所配置。

専門機関への紹介(障がい関連)

地域障害者職業センター

* 障害者の雇用の促進等に関する法律に基づく。

《業務》

障がい者への職業相談、職業評価、

職業準備支援、職業リハビリテーション。

・事業主に障がい者雇用についての支援・指導

・ジョブコーチの派遣

ハローワーク、社会福祉施設、事業所等とも連携

専門機関への紹介(障がい関連)2

発達障害者支援センター

発達障がい児・者への総合的支援を行なう地域拠点。

相談・療育・就労・啓発の各支援が主。

大阪府・大阪市・堺市も設置。

ハローワーク、社会福祉施設、事業所等とも連携

専門機関への紹介(障がい関連)3

医療機関(未診断の場合)

- これから診断を受ける医療機関への予約時の説明、紹介状の発行。
- 初診から診断確定までの経過観察
- 診断書の審査の待機期間の過ごし方

医療機関紹介から手帳取得まで、
機関のコーディネート力が問われる。

関係機関(障がい関連)

障害者就業・生活支援センター

障がいのある人への就労と生活面を
一体化した支援を地域で行なう。

* 障害者の雇用の促進等に関する
法律に基づき設置。

ハローワーク、社会福祉施設、事業所等とも連携

関係機関の一覧(若年者関連)

JOBカフェOSAKA

- 若年者(34歳まで)の総合就職支援施設(ワンストップサービス)。おおさかしごと館。
- 就職紹介、就職相談、スキルアップセミナー等。

若者サポートステーション(全国で70ヶ所委託)

- 地域における若者自立支援ネットワーク整備事業
- ニート等若者の自立支援、職業意識の啓発等。

ニートサポートクラブ (39歳まで対応)

- ニート、ひきこもり等の若者、保護者の支援

関係機関の一覧(若年者関連)

若者自立塾(全国20ヶ所、大阪2ヶ所)

- ・ニートの若者対象。(39歳まで)
- ・集団生活で生活訓練・労働体験。
3ヶ月合宿形式。労働の基本的能力の獲得と自信の付与。

A'ワーク創造館

- ・公的職業教育講座の機関(大阪府・大阪市・雇用能力開発機構)。
- ・「これから学級」シリーズ等、若者の自立支援

関係機関の一覧(若年者関連)

青少年相談コーナー

大阪府の子ども家庭センター 6ヶ所

対象～ 中卒以上24歳まで

- 家庭内の事情や社会性等、就労の前段階の相談への地域での対応
- 「不登校」～「ひきこもり」等の青少年の相談に取り組む中で、希望者に対して就労への動機づけとして職業適性相談の利用
- 主に「個別相談」で当センターは対応

関係機関ネットワーク

- * 青少年相談コーナーとの会議
- * osakaしごと館拡大連絡会議
- * 大阪府若者サポートステーション
支援ネットワーク推進会議
- * 成人期発達障害者支援機関連絡会
- * 大阪府ニート問題専門家会議

若年者、発達障がい等、就労困難な方々への各機関の役割理解と情報共有、よりよい支援への有機的な連携へ

効果的な就労支援のために

◆ 本人、家族に対して

障がい特性の把握が必要
就労場面で予想される障がい特徴と
職業適性についての正確な理解が必要。

障がい者雇用支援制度の正確な情報提供



効果的な就労支援のために

◆ 専門機関の連携

一機関の支援では限界があり、
労働・教育・福祉等、各機関の役割を
相互理解し、連携を図りながら、
専門的支援につなぐことが重要。





就労支援の立場から

ご清聴ありがとうございました。

大阪府障がい者自立相談支援センター
笠原和恵

大阪府総合労働事務所(職業カウンセリングセンター)
加藤彰俊